

# 各務原市地域包括支援センターつつじ苑通信

平成 19 年 12 月号

早いもので、もう師走です。え！？ もう？（自分で言って自分でびっくり）

今年も、皆様には本当にお世話になりました。ありがとうございます。

民生委員のみなさまの地域のために取り組まれる姿に、学ばせていただくことばかりです。このたび任期を終えられた方、本当におつかれさまでした。これからも温かい目で地域を見守ってください。（この通信はこれからも送らせてくださいね。）新しく民生委員になられた方、引き続き民生委員を担われる方、これからもご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。民生委員のみなさまとは、いろんな場面で一緒に地域の方に関わることがあり、地域ケア会議も随時開催しておりますが、それとは別に情報交換会として『町ごとの地域ケア会議』にもご協力をお願いしています。今年度初めに案内させていただいた予定からは大幅に遅れています（申し訳ありません）が、じっくりと取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

近隣ケアのみなさま、日頃の取り組み、おつかれさまです。ボランティアな活動に本当に頭のさがる思いです。今、地区ごとに『近隣ケアグループ研修』を行っております。グループによっては、今年度のサロン活動などをすでに終え、来年度に引き継ぐばかりのところもあるかと思いますが、地域で見守り活動をしていただく上での何かの参考になれば・・・と思います。“市が近隣ケアグループに何を期待しているか”のお話もありますので、ぜひご参加ください。

また、9月号で報告させていただいた『家族介護者教室』ですが、次回のテーマを何にしようか？と思案中です。ご家族の方にアンケートを依頼するかもしれません。みなさまの中で、在宅で介護をしてみえるご家族から、何か要望などをお聞きの方がございましたら、どんなことでもお知らせください。

支部社協稲羽東支部での、  
劇団味噌乃座 新作公演  
認知症予防編『よくありがちな話』  
“あれ、それ、これ家族”  
の後、事務所前で記念撮影



今月は2枚目に突入です！もう少しお付き合いください・・・。



先月の『各務原市地域包括支援センターつつじ苑通信（平成19年11月号）』にて、**特定高齢者対象の認知症予防の事業**について、「**脳のパワーアップ教室**」（くもん式、教材費月2000円）を中心に紹介させていただきました。市ではこの教室にとっても力を入れており、もともとは参加者一般公募のみで実施されていました。現在実施されている教室（平成19年10月から平成20年3月まで）から特定高齢者のかたも一緒に参加できるようになり、我々地域包括支援センターとしても、地域の方々にご案内をさせていただくこともありました。

それとは別に、来年（平成20年）1月から3月まで、**特定高齢者の認知症予防の事業**が始まります。『つつじ苑通信（平成19年8月号）』で“チラッ”とお話に出た（\*西地区は～、東地区は～、との文脈で）教室です。

また、**特定高齢者対象の口腔機能・栄養改善の事業**が新たに始まります。

今回はどちらの教室も申し込みの締め切りが近づいていますが、これからもいろいろな企画があると思います。この通信をご覧のみなさまに「こんな教室もあるんだ!」「あの人にどうかしら!？」など、今後の参考にさせていただく意味も含め、それぞれのチラシを同封させていただきます。

そもそも“特定高齢者って、何ぞや!？”といった疑問もあるかと思えます。それについては『つつじ苑通信（平成19年2月号・5月号）』にて、あくまで簡単にお話したことはございますが、近いうちにもう一度、特集を組んで説明させていただくことがあるかもしれません。



9月の福祉フェスティバルにて。  
袴を着て転倒予防体操。  
ここで一句・・・。  
『かみしもの 写真を見つけて  
思い出す 今年の年末 忠臣蔵  
やるかな（すごい字余り）』

「もっとあーしろ、こーしろ。アレも載せろ」等、ご意見お待ちしております。

電話 058-371-2226 FAX058-371-8431 （担当 長谷川・西脇・林）